

書名	律令国家前夜			著者名	前園実知雄／著		
出版社	新泉社	ISBN	978-4-7877-2203-4	本体価格	¥2,700	発売	2022/6/2
内容	三輪山を望む地に成立したヤマト政権は、推古天皇の時に王宮を飛鳥に遷した。三輪山信仰から新しい信仰へと踏みだし、やがて仏教を掲げて律令国家「日本」へと向かう。厩戸皇子の幻の斑鳩京をはじめ王家の皇子たちが命をかけ、それぞれの理想の国を追い求めた飛鳥時代を考える。						

書名	古代日本に於ける「図書館」の起源			著者名	新藤 透／著		
出版社	樹村房	ISBN	978-4-88367-364-3	本体価格	¥3,200	発売	2022/6/9
内容	現代の図書館の役割とは「情報」を提供する「情報センター」であると位置づけ、情報の継承や伝達の歴史を丁寧にたどり、古代日本人が図書館を必要とした理由を解き明かす。 「図書館」の発生と展開について考察することにより図書館の存在意義を考えるー						

書名	カラー版 地形と地理でわかる日本史の謎			著者名	小和田 哲男／著		
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-03051-1	本体価格	¥1,100	発売	2022/6/10
内容	なぜ、奈良が古代天皇家の本拠地に選ばれたのか？なぜ、平清盛は福原に拠点を置いたのか？なぜ、伊賀・甲斐・伊豆が忍者の一大勢力地になったのか？なぜ、田原坂が西南戦争最大の激戦地になったのか？古代から近現代まで、日本史上の重大事項を地理や地形の観点から解き明かす。豊富なカラー地図・地形図つきで解説します。						

書名	戦いの日本史 第1巻			著者名	田中恒夫／著		
出版社	国書刊行会	ISBN	978-4-336-06578-0	本体価格	¥20,000	発売	2022/6/10
内容	古代から戊辰戦争まで、我が国ではどのような時代背景のもとで、どのような経緯を経て「戦い」に至り、その戦いは実際にどのような形態・様相であったのか。さらにその戦いがその後どのような影響を及ぼしたかまでを追求し、細部に至るまで詳細に検討する全六巻のシリーズ。第一巻は総論・古代～鎌倉時代の戦いについて。						

書名	写真図説 占領下の大阪・関西			著者名	橋爪 紳也／著		
出版社	創元社	ISBN	978-4-422-30095-5	本体価格	¥2,700	発売	2022/6/16
内容	新聞社の保存庫に眠る膨大な資料の中から、GHQ統治下、占領期特有の希少な写真を発掘し、テーマ別に編んだ戦後史ビジュアル・コレクション。大空襲、敗戦を経て、進駐軍の上陸、米兵の駐留、各施設の接收から解除に至るまでの特異な時代を写真記録でたどる。焼け野原から復興していく街並みと暮らしの激変ぶりも活写。昭和20年から昭和30年にかけて、大阪を中心に関西2府4県で撮影された約400点の蔵出し写真を収載。						

書名	駒澤大学仏教学部教授が語る 仏像鑑賞入門			著者名	村松 哲文／著		
出版社	集英社	ISBN	978-4-08-721220-4	本体価格	¥1,150	発売	2022/6/17
内容	奈良から江戸時代の仏像の見るべきポイントを、写真を使いながら徹底解説。仏像を眺めれば、仏教と日本の歴史が見えてくる!						

書名	コミック版 逆説の日本史 古代黎明篇			著者名	原著 脚本: 井沢 元彦 イラスト: 千葉 きよかず		
出版社	小学館	ISBN	978-4-09-388851-6	本体価格	¥1,600	発売	2022/6/17
内容	日本列島に住んでいた我々の祖先「倭(ワ)」国連合の民は、いつから「日本人」になったのか——。ベストセラー『逆説の日本史』の著者・井沢元彦氏が気鋭の漫画家・千葉きよかず氏とタッグを組んで、歴史学界が説明できない、古代史最大のタブー&謎に切り込む!						

書名	葛城の考古学			著者名	編集: 松田真一		
出版社	八木書店	ISBN	978-4-8406-2255-4	本体価格	¥3,200	発売	2022/6/30
内容	先史・古代の重要遺跡が残る地 奈良盆地の南西部にあたる葛城の地(令制大和国の葛上郡・忍海郡・葛下郡、および広瀬郡を加えた地域)には、先史・古代を中心に、歴史上重要な古墳や寺院など、多様な種類の遺跡を含む文化財が数多く残る。						